

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名：床用ひび割れ補修材（アスファルト用）

色名：ブラック

製品説明：種類：補修用樹脂モルタル

主な用途：アスファルトの床面

会社名：株式会社アサヒペン

住所：〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12

担当部門：品質保証部

責任者：林 正明

担当者・作成者：谷川 聡

電話番号：06-6930-5036

FAX番号：06-6930-5035

メール：hinshou@asahipen.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

JIS Z7252 (2014) に基づき分類した。全ての項目が 区分外、分類対象外、分類できない に該当する。

GHSラベル要素

表示すべき項目なし

3. 組成、成分情報

成分名	CAS No.	含有量 (重量%)	関係法令 ^{※1}						備考
			表示 対象	通知 対象	有機則	特化則	化管法 (PRTR)	毒劇法	
アクリル樹脂	—	10~20	—	—	—	—	—	—	
珪砂	14808-60-4	5~20	○	○	—	—	—	—	
炭酸カルシウム	471-34-1	40~60	—	—	—	—	—	—	
水	7732-18-5	1~10	—	—	—	—	—	—	

※1 関係法令 ○：最大含有量が閾値以上の対象物質 / △：最大含有量が閾値未満の対象物質 / —：対象外の物質

4. 応急措置

目に入った場合

- * 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。
- * 医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- * 付着物を布にて素早く拭き取る。
- * 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
- * 溶剤、シンナーは使わないこと。
- * 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合

- * 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
- * 嘔吐物は飲み込ませないようにする。
- * 直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- * 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
- * 嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤

水 (○)、炭酸ガス (○)、泡 (○)、粉末 (○)、乾燥砂 (○)、その他 ()

消火方法

* このもの自体には可燃性なし。

6. 漏出時の措置

- * 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- * 流出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- * 大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止し、できるだけ回収する。少量であればウエスなどで拭き取る。その後水で洗い流す。
- * 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。
- * 水で洗浄する場合、河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

- * 換気の良い場所で行う。
- * 適切な保護具を着用する。

保管上の注意

- * 日光の直射を避ける。
- * 凍るようなところは避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- * 特に必要なし。

保護具呼吸系の保護

- * 有機ガス用保護マスクを着用する。

目の保護

- * 保護メガネを着用する。

皮膚の保護

- * 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

その他の保護

9. 物理的及び化学的性質

状態 液体（ ）、気体（ ）、固形状（ ）、粉末状（ ）、ペースト状（○）
 色 黒
 臭気 若干澱粉臭、エマルション臭あり
 沸点 —
 蒸気圧 —
 比重 1.59～1.69
 pH —
 その他 水に可溶

10. 安定性及び反応性

製品特数

引火点 なし
 発火点 —
 爆発限界 下限 — 上限 —

反応性、安定性情報

接触により危険性のある物質 情報なし
 燃焼などによる有害ガス発生 このものは燃えないが塗膜などが燃えた場合、COなどが発生。
 その他の反応性情報 通常の条件では安定である。

その他の危険性情報

特になし。

11. 有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

物質名	管理濃度	ACGIH (TLV)	IARC	その他有害性
アクリル樹脂	—	—	—	—
珪砂	—	—	—	—
炭酸カルシウム	—	—	—	—

組成物質に関するその他の有害性情報

* 上記以外特に情報なし。

製品に関する有害性情報

* 製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

* 容器、機器などの洗浄水をそのまま排水溝に流さないこと。

13. 廃棄上の注意

- * 廃残物、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして、関連法令を遵守して適性に処理する。
- * 容器、機器装置等を洗浄した廃水等は地面や廃水溝へそのまま流さないこと。
- * 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

14. 輸送上の注意

共通 7. 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

陸上輸送 法規に該当しない。

海上輸送 船舶安全法に該当しない。

航空輸送 航空法に該当しない。

国連番号 なし

15. 適用法令

化審法	該当しない
消防法	該当しない（非危険物）
労働安全衛生法	
労働安全衛生法施行令	該当しない
有機溶剤中毒予防規則	該当しない
特定化学物質障害予防規則	該当しない
化学物質管理促進法（PRTR）	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

主な引用文献

日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」

危険防災救急便覧

国際化学物質安全カード（ICSC）

注意

危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。